

初鹿明博衆院議員が「質問主意書」

「不正改造問題」で5項目

「河野答弁」以後の状況、対応

民進党・無所属クラブの初鹿明博衆院議員は10月27日、「ぱちんこ遊技機の不正改造問題に関する質問主意書」を大島理森衆議院議長宛に提出した。これは4月27日の衆議院内閣委員会での河野太郎国家公安委員長（当時）の答弁に基づき、その後の政府の取り組みを確認する目的で、要旨は以下の通り5項目となっている。

1. 河野国家公安委員長の答弁で
2. 同答弁で、「最大限速やかな撤去を団体にもきちんとやらせるよう指導する」とあるが、いつ、どのような団体に、どのような指導を行ったか。
3. 「違法な機械が大量に出回つて明らかにしてほしい。
4. 同答弁で「行政処分を実施することを含め、厳正に対処していく」と発言しているが、国家公安委員会または警察庁としてのいかなる権限に基づいて、どのような措置を都道府県公安委員会に対して取ることを意図して述べられたか、具体的な条文に照らして明らかにしてほしい。
5. 平成27年11月6日付けで警察庁保安課長から業界団体に発出された「検定機と異なる性能があることから、該当型式のぱちんこ遊技機について、業界を挙げた回収を進める」との報告を受けたとしているが、「出荷する時点では、既に検定機と異なる性能となっている可能性がある」ならば、遊技機認定等規則に基づき迅速に実態調査し、型式検定の取り消しの行政処分を含めて厳正に対処すべきと考えるが、政府の見解に相違はないか。



講演する森谷文子氏

人材育成委員会主催の「第3、4回女性活躍推進フォーラムin東京」が10月13、14日の2日連続で、日本橋三洋グループビル会議室で、

開かれた。さる7月の第2回に引き続き、4グループ計17人（17社）の女性正社員が参加した。両日とも最初にセミナーがあり、その後に来年1月27日に予定される最終回（第5回）でのプレゼンテーションに向けて、各グループが企画づくりに取り組んだ。

13日のセミナーには、昨年度のフォーラムで最優秀賞を受けたEグループのリーダー、森谷文子氏（株）ニラクが登壇し、初対面のメ

ンバー4人がだんだんとまとまり、企画を完成させるまでの体験談を話した。

森谷氏によると、「企画をつくれといわれたとき、誰のために、何のために考えるの？」と、全員が疑問を感じながらスタートしたという。その上で思ったことは、「一つは、私は会社に勤めているから、何かしら会社のために出来ることを考えよう。もう一つはこの業界の良さを表現するような企画にし

て」しまうような状況が生まれた原因を、政府としてどのように分析しているか。ぱちんこ店、遊技機製造業者、政府、それぞれの責任について明らかにしてほしい。

要請の中で、日工組から「メーカーがホールに出荷する時点で、既に検定機と異なる性能となつていて」の可能性があることから、該当型式のぱちんこ遊技機について、業界を挙げた回収を進めるとの報告を受けたとしているが、「出荷する時点では、既に検定機と異なる性能となっている可能性がある」ならば、遊技機認定等規則に基づき迅速に実態調査し、型式検定の取り消しの行政処分を含めて厳正に対処すべきと考えるが、政府の見解に相違はないか。

女性活躍推進フォーラム

「喫茶店閉まるまで議論」

森谷文子さんが体験談

（昨年最優秀）

「業界に一石を投じよう」ということだった。

「メンバー一人一人と毎週電話で話しました。この業界に一石を投じるような企画にしようよ、と。そういう話し合いをずっと続けていたうちに、みんなの中で一丸となつた気運が生まれました」。

「フォーラム以外でも東京に集ま



講演する三浦由起子氏



グループディスカッションに熱がこもる



三浦氏の指導で、取材の報道関係者や委員会メンバーに向かって発声練習

意外にパチンコ業界も負けていないんじやない。今、業界で働く女性の現状はどうなつてゐるのか実態調査もしてみよう」ということで出てきた企画が「キラメキPプロジェクト」だった。この企画は、

三浦氏は、「プレゼンテーションの目的は、商品または提案を選んでもらうこと。すらすら話すだけ

方のトレーニング。腹式呼吸による発声練習、滑舌練習を行った。

次に話の内容を整えて説得力を上げるトレーニング。簡潔に伝えられる話の「型」として、最初にテ

りました。広島のメンバーも公休を利用して来てくれました。カフェが閉店するまでずーっと話してみていいですか』といわれ、それで外に出てさらに30分ぐらい話し続けたのを覚えていいます」。

企画がプロジェクトに

話しているうちに、「私たちの業界にはこれだけ輝いている女性がいっぱいいるのなら、女性にスポットを当てた広報をしよう。ホワイト企業なんかが選ばれてるけど、

森谷さんは、「誰のために、何のために企画を考えるのか、それは自分の中からしか出てこない。女性の力はこの業界で今きらめき輝いているし、これからも輝いていくはずです」と結んだ。

発声からプレゼン技術まで 三浦由起子氏講演

14日のセミナーでは、現役アナウンサーでスピーチトレーナーの

三浦由起子氏が「アナウンサーに学ぶプレゼンの技術」と題し講演した。これは最終回に行うプレゼンテーション用のトレーニングと直結する講座となつた。

三浦氏は、「プレゼンテーション

今年度日遊協の新プロジェクト「女性活躍調査報告(仮称)」(人材育成委員会、広報調査委員会の共同)に発展している。

森谷さんは、「誰のために、何のために企画を考えるのか、それは自分の中からしか出てこない。女性の力はこの業界で今きらめき輝いているし、これからも輝いていくはずです」と結んだ。

女性活躍推進フォーラムの目的は、①グループディスカッションでテーマに沿つた企画を練り上げ、最終回に成果を発表、その企画を持ち帰つて自社の風土を変えていく②役立つ資格の取得サポートや実例セミナーの聴講③相互に刺激を受けながら人脈ネットワークを促進——となつてている。参加者は毎回グループディスカッションを重ねて企画を詰めるため、毎回通じて参加可能なことが大前提となる。

人材育成委員会

10月13日
日本橋三洋グループビル
出席委員等10人

【フォーラム】最終確認

委員会に引き続いて行われる

「第3、4回女性活躍推進フォーラムin東京」の進行などを最終確認

しました。